

2025年(10月入学)

2026年(4月入学)

佐賀大学大学院入学試験問題

地域デザイン研究科

芸術デザインコース

科目名： 窯芸

----- 解答上の注意事項 -----

- 1 「解答始め」の合図があるまで問題を見てはならない。
- 2 「解答始め」の合図があったら、全ての解答紙の所定欄に受験番号を記入すること。
- 3 問題の解答は、別に指示がある場合を除き、所定の解答欄に記入すること。
- 4 「下書き用紙」がある場合は、「解答紙」とともに「下書き用紙」も回収する。ただし、「下書き用紙」に記入した内容は採点の対象とはしない。
- 5 その他、監督者の指示に従うこと。

試験問題

現代の陶芸表現を把握するにあたり工芸評論家の外館和子氏は、その特徴として「創造性（創意）」と「实在表現」を挙げている。

ここで言う「創造性」は20世紀初頭からの個人という価値観を基盤とした創意であり、土に何らかの手を加え、多くの場合焼成することで表現に至る。そしてその創意が見る人に訴えかけてくる造形言語となっていることが重要となる。また「实在表現」とは、作り手が直接素材と向き合い、自分なりの素材の扱い方や必要な技術的工夫をもとに、独自性を持った制作を進めることをそう呼んでいる。

自己の陶磁器または、陶芸制作について、ここで言う「創造性（創意）」と「实在表現」を、どの様に理解して制作にあたっているか 1000 字以内で述べよ。